

にこにこ つうしん 通信

出典：一般社団法人高安診センター(<https://kooansin.or.jp/column/cate9/20190820-94/>)

自動車の逆走について！

～みなさん、ヒヤリハットは経験ありませんか？～

毎日のようにテレビや新聞で自動車の逆走事故のニュースが取り上げられていますね。以前は、こんなにたくさんの「逆走」という言葉を見たり、聞いたりしていなかった気がしますが、なぜ、こんなに増えたのでしょうか？

「逆走」って何？

逆走の定義・・・逆走運転とは、道路交通法において「**通行区分違反**」として位置づけられている。

つまり、定められた通行方法を守らない行為のことです。

なぜ、逆走が起こるのでしょうか？

- ① 認知機能の低下によるもの。
- ② 道路構造を誤認してしまうもの。
- ③ 道を間違えた後のパニックと操作ミスによるもの。

では、① について、

- ・空間認識力の低下：自分がどちら向きに走っているか、分からなくなる
 - ・記憶力の低下：今どこから来て、どこに向かっているか、忘れてしまう
 - ・判断力の低下：道路標識や路面の矢印を正しく理解できない
- 高齢ドライバーのうち、約 20%が「逆走している認識がなかった」と言っています。

② について、

- ・中央分離帯の開口部
 - ・合流部や分岐部
 - ・交差点
- などの複雑な構造で間違ってしまう。

加えて、カーナビの案内を誤解してしまう。ということもあります。

③ について、

故意ではないが、間違ったことから焦ってしまい、Uターンやバックをしてしまい、結果的に逆走になってしまう場合もあります。

加えて、高齢者の場合には、視力の低下や反射機能の低下、体力の衰えから長時間にわたる運転が難しくなる.といったこともあります。

“ひとやすみ”

交通事故は、人ごとと思っていませんか？ 自分だけ気を付けても！！！！

※突然！ 対向車が逆走？ してくるかも。



皆さん、知っていますか？

自転車運転時の飲酒運転により、運転免許の停止処分を受けた人が、令和7年1月～9月、全国で896人になっており、去年より急増しています。（昨年の道路交通法改正により、各地の公安委員会が厳しく適用をし始めたことによるものです。）

出典：読売新聞オンライン(<https://www.yomiuri.co.jp/national/20251210-GYT1T00277/>)



入学前に親子で通学路の確認をしましょう！

この春、小学生となる園児にとっては、幼稚園・保育園とは生活環境がガラリと変わり緊張の毎日が続くことになるでしょう。さらには、これまで慣れ親しんできた通園から、小学校への通学路に変わること、子どもたちに限らず家族みんなが戸惑いや不安も募ることとなるでしょう。

保護者の皆さんは、就学前に子どもさんと一緒に通学路を確認しましょう。経路上には、横断歩道や信号機のある場所・ない場所、車の往来が激しい場所、飛び出しのおそれのある路地など、危険と感じられる環境が数多くひそんでいます。これら環境を親子でしっかり確認するなどして、家庭で交通安全に対する意識をさらに高め、そのうえで子どもの良きサポーターとなってあげてください。

園児、小学生への交通安全教室（交通教育センター内で実施）

交通教育センターへ来場していただき、センターの屋外路上施設で交通安全教室を実施します

- ① 小学生への自転車教室
- ② 新1年生への交通安全教室
- ③ 巡回教室と同様の内容での園児への交通安全教室



交通教育センターからのお知らせ ～自転車の利用～

当センターは交通ルールとマナーを学ぶ、山口県下唯一の施設であり、市内外問わず多くの方々利用されています。利用者が多くて施設内が混雑する土・日曜日は、できる限り多くの子どもたちに気持ちよく楽しく利用してほしいため、成年者(18歳以上)の自転車利用はご遠慮いただいているほか、利用時間も制限(1時間)させていただいておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

また、ご利用時間は9:00 から 16:30 までですが、入場受付は、16:00 までとなっております。

